

平成26年4月1日

水稻・麦・大豆栽培情報4月号

J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【小麦】

1 生育概況

3月の気温が平年より高く推移したため、生育進度は平年並からやや早くなっています。また、2月の降雨により、一部のほ場で湿害が見られています。

出穂期は、昨年よりやや早く、11月20日播種では、「シロガネコムギ」で4月7日頃、「ミナミノカオリ」で4月11日頃と予想されます。

2 赤かび病防除について

【防除の目安】（小麦11月20日播種の場合）

◎ 防除適期は、今後の気温で変動することがあります。

◎ 出穂期は、ほ場全体の40～50%の茎が出穂した日としています。

品種	防除適期	薬剤名及び10a当たり使用量	使用回数	使用時期
シロガネコムギ	4/15～4/20頃	トップジンM粉剤DL 4kg 又は トップジンM水和剤 1,000倍/100ℓ	出穂期以降は2回以内	収穫14日前まで
ミナミノカオリ	4/20～4/24頃			

※播種時期が上記と異なる場合は次の日数を目安に散布してください。

小麦の場合・・・開花期（出穂後7～10日）～開花最盛期

※粉剤は散布後5～6時間内に降雨にあうと効果が低下します。週間天気予報等を参考にしながら早めの準備を心がけ、条件のよい日に散布して下さい。

3 「ミナミノカオリ」の穂揃期追肥

麦粒中のタンパク質含有率の向上のため、確実に実施してください。

施用時期は赤かび病防除と同時期（出穂後7～10日）に硫酸を15kg/10a施用してください。（尿素的の葉面散布の場合は、出穂後14～17日に5kg/100ℓ/10aとなります。）

4 周辺作物への農薬の飛散防止について

隣接ほ場に他作物が作付されている場合、農薬がかからないように風向きや風の強さに十分注意して下さい。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベルを確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！